



いざなぎ学園だより

No.27 2023.3/1

◆令和4年度 淡路文化会館「いざなぎ学園」第27回講座

3月1日(水)、専門講座8「淡路島の地震の歴史」淡路地方史研究会 海部伸雄先生のご講話がありました。また、午後からは学年別講座8「この一年の振り返りとまとめ、次年度に向けて」が行われました。



(受講生 振り返りシートより)

・海部先生がおっしゃられたように、自分の住んでいる地域を知り、地震、津波に対する対策を家族とともに考え、防災意識を高めたい。

・過去にどんな地震が起きて、その時、人はどんな行動をとったかを知ることが、今後、起こる地震への備えになります。非常に貴重なお話をありがとうございました。次の世代にも語り継ぎたいと思いました。

・南海トラフ地震に備え、淡路島でも耐震工事や護岸工事をしています。今日の先生のお話を聞き、本当に大切な工事だと改めて思いました。子供や孫たちの時代には必ず起こるとい南海地震、知識と備えが必要だと痛感しました。

・私は、昭和南海地震が起こった年に生まれました。両親からもっといろいろ話を聞いておけばよかった。また、子供たちに伝える大切さを今更ながら思った。

・最近、たびたび世界中の地震報道を聞くようになりました。防災グッズも用意していますが、本当に地震が来たとき、役立てられるかあまり自信はありません。まずは自助!

・これだけ詳しく淡路島の地震のことを学んだことがなく、とても勉強になりました。防災対策の重要性を再認識しました。

・近年の講座の中で一番興味深い講義でした。古文書から読み取る地震の傷跡。歴史は繰り返される。やはり津波が来たときは、高台や垂直避難をしたいと思います。

・繰り返し地震は必ず来ることを思いました。古文書などによって地震の歴史や被害を詳しく知ることができました。阪神淡路大震災を体験したのに、つい気を緩めていた自分に気づきました。

・70%から80パセントの確率で、30年以内に起こると言われている南海トラフ地震。自分事としてとらえ、準備すると大切さを痛感しました、ありがとうございました。

・阪神淡路大震災から28年。当時のことが風化しつつある。防災意識の薄い若い世代に啓蒙し、伝えることの大切さを思った。

・繰り返される南海地震の歴史が理解できました。西海岸は津波に関係ないと思っていましたが、その歴史を知り身が縮みました。活断層を調べたり備えをしっかりとっておきたいと思います。

・海部先生のお話を伺い、28年前の地震を思い返しました。あの恐怖を思い返すと、今も心が締め付けられます。あの時は我が子を守ることで必死でした。活断層の多い淡路島。災害にしっかり、備えたいと思います。

・淡路島の地震の歴史。とても身近で興味深いお話でした。過去を知り、将来の災害に備えることの大切さを考えました。また地震のしくみについて改めて学ぶ良い機会となりました。

・大地震は100年周期で発生すると聞いていましたが、どこか他人事でした。今回、淡路島の地震の歴史を教えていただき、身近な問題として認識する良い機会となりました。世界に目を向けると、トルコやシリアの大地震があり、私たちも日頃から、減災に備えたい。